

先進地に学ぶ

総務建設産業常任委員会活動(研修)報告

包装加工設備

青果物の包装加工設備の先進地視察

(11月14日)

J Aふくれん八女パッケージセンターは、現在大木町において計画中であるパッケージセンター建設の模範となるべき施設であり、現地視察だからこそ知り得た貴重な経験則を学びました。部会員の減少対策や施設の減価償却と施設の維持管理、営業手法、J Aと部会およびふくれんとの連携、諸作業の実手順なども学んだ。

V F(ベジタブルフード)センターには、既存の施設を改装され包装加工設備を有していた。産地から直接買取、集荷、包装加工、営業販売の手法を採用していた。



パッケージセンターでの作業のようす



ベジタブルフードセンターでの作業のようす

防災・減災システム

大分県竹田市の被災地視察

(11月15日)

大木町も被災(床上浸水3戸、床下浸水149戸)した、九州北部豪雨において甚大な被災をうけた竹田市を現地視察した。被災状況と復旧・復興などの対策や課題を学び、防災減災につなげていきたい。



被災地視察状況



研修のようす

ネコヤナギ・エコ工法

既設護岸の緑化工法であるネコヤナギ・エコ工法を雪の舞い散る1月21日に佐賀県厳木町を視察してきた。

既設コンクリート護岸への期待される効果は、①景観改善②生態系の回復③水辺の安全性向上が図られるなど、既設護岸の崩壊の恐れもないことから既設護岸の緑化と環境保全に役立つものと考えられる。



厳木町ネコヤナギ・エコ工法

城島町土地改良区の暗渠排水工事を学んだ

平成25年12月2日(月)

研修内容

城島町土地改良区において平成23年度より開始された農振農用地における農業体質強化基盤整備促進事業(暗渠排水施工)について研修(学習)した。

要旨

●事業主体は城島町土地改良区であり、平成25年度までの3年間で620haを完成する予定。

●すべてが、反当り15万円の国からの定額助成

●暗渠排水は、以下の3タイプの中から申請者が選択できるようにした。

●Aタイプ:反当り1万円程度の負担金となるエコFOEAS(水位管理器無地下水水位制御システム)

●Bタイプ:反当り3万円程度の負担金となるFOEAS(水位管理器無地下水水位制御システム)

●Cタイプ:反当り負担金のない、従来型の暗渠排水

●城島町では概ねA:B:C=45:10:45の実績である

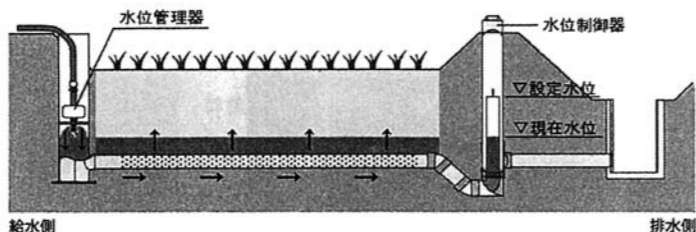
●FOEASの利点と欠点は以下のとおり

利点

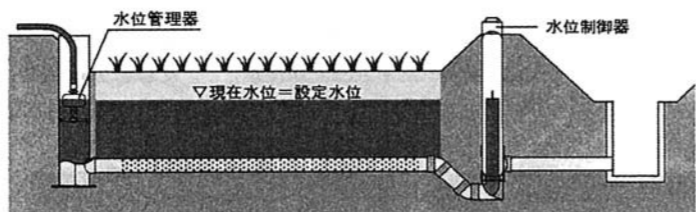
- ・排水管の布設は、開削せずに、引き割り方式であり、田への痛みが少ない。
- ・3タイプとも同じ施工機械で施工できる。
- ・3タイプの中から選択できるようにしたため、同意が取りやすく、円滑に事業を開始することができる。
- ・排水管に堆積した泥の清掃が容易である。
- ・AタイプからBタイプへの改造も可能である。
- ・全国的に普及している工法であり、実績も多い。

欠点

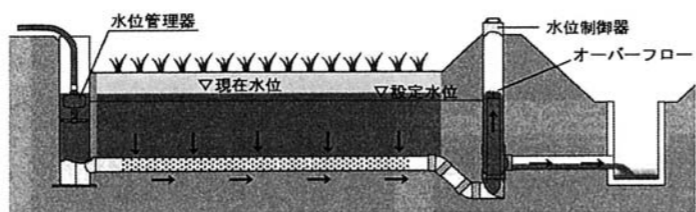
- ・特許工法である。



設定水位よりも低い場合



設定水位に達した場合



設定水位よりも高い場合

FOEASによる水位制御のイメージ(Bタイプ)



城島の暗渠布設状況



平成25年度大木町での工事のようす